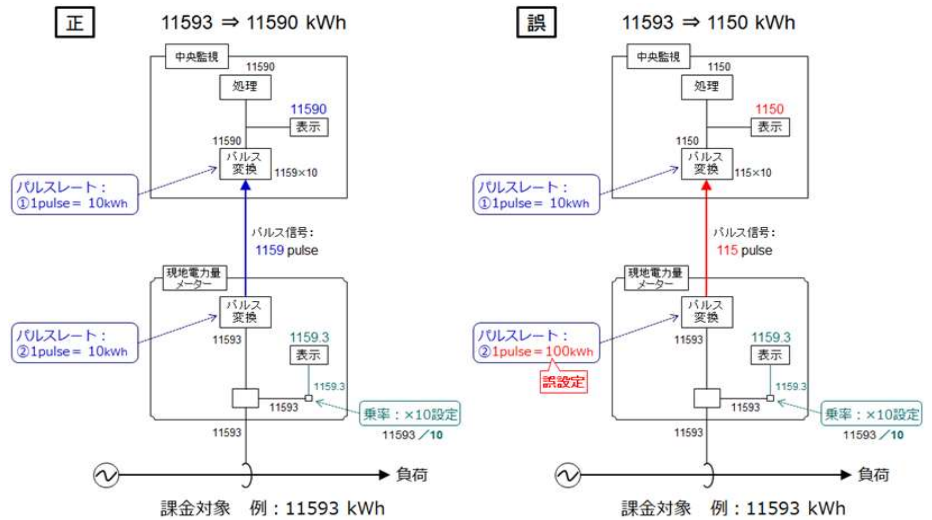


種別	工種	事例名	シート番号
その他	電気	電力メーターのパルスレート設定間違いによる誤課金	5-6

不具合事例・状況

- ・現地電力量メーターと中央監視の不整合により課金間違いが発生した。現地確認したところ、メーターと中央監視側でのパルスレートの相違により中央監視側で誤った表示となっていた。



中央監視側のパルスレート：①「1pulse=10kWh」

メーター内部のパルスレート：②「1pulse=100kWh」

*メーターに貼られている刻印シールは、1pulse=10kWhとなっていた。

原因

- ・メーター対向試験時に現地電力量メーター表示値が実際の電力使用量の1/10であることを失念していた。
- ・メーター内部のパルスレートを、1pulse=10kWh出力とすべきところを1pulse=100kWh出力で設定していた。

現地メーター値を記載(乗率で割られている数値) 中央監視の電力使用量は実際の1/10となっていた。

	現地	中央	前日値との差分
メータ数値合わせ	1159.3	1150	-
1回目検針	1199.8	1190	40
2回目検針	1306.2	1300	140
3回目検針	1538.1	1530	200
引渡し時検針	1617.7	1600	70

<対向試験時の記録用紙>

対処方法

- ・中央監視側のそれまでの累計パルスカウント数を10倍し、メーター読み値と中央監視側読み値を整合した。
- ・メーター内部のパルスレート設定を1pulse=10kWhに更新した。

再発防止対策

1. 試験計画書に以下を明記する。

1) 対向試験記録書には、①～④全てを記録する。記載例を以下に示す。

①乗率 ②現地メーター数値 ③乗率で割り戻した実際の電力使用量 ④中央監視側の数値

2) ③と④を比較して対向確認、パルスレート確認を行う。

メーター数値合わせ	①乗率	②現地メーター数値	③乗率換算後(①×②)	④中央監視表示値	③と④の照合
1回目	10	1159.3	11593	11590	○
2回目	10				
3回目	10				

2. パルスレートは変更しない。

<記録用紙 例>

備考	参考文献：	制定	2023年3月1日
	参考メーカー：	改訂	